

# 修学旅行新聞

財団法人 全国修学旅行研究協会  
発行人 前田 寛  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17-1 (NK第一ビル)  
電話 03(5259)0631  
第一替 00160-7-36337

## 平成12年度三地区連合体計画輸送の大筋が決定

### 参加校数及び申込人員共に前年を大幅に下回る。

昨年末、平成12年度実施 体では、連合体参加校数で三地区(関東・東海・近畿)公立中学校の連合体計4校、申込人員で前年比92.7%の約316千人と、このたび決定したものは、なった。

参加校数で前年比95.4%の438校、申込人員で前年比90.7%の約985千人となっている。申込人員の減少傾向は、少子化による時代の流れと、海修委(東海3県中学校修学旅行委員会)では、連合体は今後、連合体計画輸送して、修学旅行の旅行

への課題となる。一般的に、先として人気の高い京都・参加校数の減少要因として、長崎では「1校1館希望」以下の点が上げられている。の影響も重なり宿泊旅館確保が難しくなっている。①修学旅行実施日が抽選方式で決定されるため学校希望日とズレが生じる。②連合体計画輸送は土日を含めた連日輸送のため学校によっては土日実施を避けた。たつた4校となつてしまつた。③連合体輸送は大量輸送による一定期間が条件になつており、旅行先が限定されている。特に旅行実施期間として各学校共5月中旬のウイークデイ希望が多く、連合体輸送だけでなく、独自校(連合体に参加していない学校)もこの時期に集中しており、修学旅行の旅行

た。東海地区は現在関東方面にのみ連合体輸送を実施しているが、近年西向きへの連合体取組の声が出てきた。旅行先の変化が見られたのは近畿地区である。近畿地区は永年関東・信州・中国・九州方面と多方面への連合体輸送を実施してきたが、昨今の傾向としては関東方面への参加校が増加し中国・九州方面への参加校が減少傾向を辿っている。その要因として長崎における宿泊旅館確保の難しさと一部府県の公立中学校航空機利用認可による沖縄修学旅行の増加と思われる。

いずれにしても、前述の状況・課題に加えて2002年からの学校週5日制完全導入と教育課程改訂もあり修学旅行は変化していくものと思われる。これらの変化への対応は、修学旅行の基盤をなす連合体計画輸送にも求められるものである。

[表-1] 三地区におけるJR連合体計画輸送の推移 (財) 全国修学旅行研究協会調べ (単位: 校、人、%)

修学旅行名	旅行先	平成11年度			平成12年度						
		学校数	前年比	生徒数	前年比	学校数	前年比	生徒数	前年比	運転期間	
関東修学旅	関西	811	100.5	142,554	98.4	4/13~7/08	799	98.5	135,248	94.9	4/13~7/05
	東北	4	57.1	574	49.1	5/25	4	100.0	528	92.0	5/23
	小計	815	100.1	143,128	98.0	-	803	98.5	135,776	94.9	-
東海修学旅	関東	459	96.0	89,062	95.0	5/07~6/26	438	95.4	81,626	91.7	5/09~6/29
	小計	459	96.0	89,062	95.0	10/06~10/22	438	95.4	81,626	91.7	10/02~10/04
	近畿修学旅	関東	197	105.9	31,597	104.2	5/07~5/24	207	105.1	32,903	104.1
近畿修学旅	信州	49	106.5	8,924	103.9	5/10~5/31	46	93.9	8,406	94.2	5/15~6/02
近畿修学旅	中国	13	162.5	2,189	154.2	九州に含まれる	11	84.6	2,007	91.7	九州に含まれる
近畿修学旅	九州	324	90.0	65,734	89.5	4/17~6/28	279	86.1	55,032	83.7	4/20~6/24
小計	583	97.2	108,444	95.3	-	543	93.1	98,348	90.7	-	
合計	1,857	98.2	340,634	96.3	-	1,784	96.1	315,750	92.7	-	

※ 運転期間は複数列車による最大幅です。

## 主張 新学習指導要領と修学旅行

昨年十二月十四日、小中学校学習指導要領が改訂され、文部省から告示された。今回の改訂では、週五日制に伴う「ゆとり」の中で、「生きる力」の育成の重視と、総合的な学習の時間の特設が特色とされている。一方、今回の改訂において、修学旅行を規定する特別活動の目標も、学校行事の旅行(小学校は遠足・集団宿泊行事の内容も文言は変っていない。

これは、現在の目標より内容が不足している。一つは、活動を進めるに当たっては、生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かす判断し、行動し、問題を解決する資質や能力であり、他の一は、自らを律し、他人と協調し、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性である。

また、そこに至った中教審の現状把握では、「ゆとり」の意識が低下していること、自立が遅くなっていること、社会性が不足していること、などが指摘されている。修学旅行については、修学旅行の主体は子供であること、修学旅行の指導要領に「平素と異なる生活環境」つまり子供にとって保護者や住居地から離れて行う教育活動である。学校生活の中で他に代えることのできる教育活動として、子供が主体的に創意工夫の必要制が生じてくる。まさに、「特色ある教育・特色ある学校づくり」の一角である。



「外国人とコミュニケーションを図ろう」 宇都宮市立若松原中学校

## 風紋

二月は如月(きさらぎ)、そして今年も三日が節分、四日が立春である。「きさらぎ」は、陰暦二月の異称であり、衣更着または着更着の字を当て、着物を重ね着して寒さをしのぐ時期の意である。「裸にはまだきさらぎの風かな芭蕉」

楽しい旅に、大きな安心。 TOKIO MARINE 学校旅行総合保険をおすすめします。 東京海上火災保険株式会社 本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

夢と感動の修学旅行 人が好き。地球が好き。旅がスキ。 近畿日本ツーリスト 運輸大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員



# 教育の窓

例えば、女生徒が「あの野郎が」とか「校長の奴が怒ってやがった」「超うざいなんだよ」「てめえがどジトって」などと乱暴な表現をしたり、一方では流行を鑑みた軽薄な言い回しを濫発したりするなどである。美しい日本語どころの騒ぎではない。日本語そのもの乱れをはじめ、服装のくずれかけ、消え去るなどの身嗜み、公衆の面前における言動、挨拶などの礼儀作法等々、どれを取り上げても日常生活に見られる彼らの言動には目に余るものが多いと思うが、いかんがであるか。

例えば、登下校時の電車やバスの車中の会話など、聞くに耐えないものがある。老人を無視して「チョーむ



渡部 邦雄

## モラルとしつけ

例え、女生徒が「あの野郎が」とか「校長の奴が怒ってやがった」「超うざいなんだよ」「てめえがどジトって」などと乱暴な表現をしたり、一方では流行を鑑みた軽薄な言い回しを濫発したりするなどである。美しい日本語どころの騒ぎではない。日本語そのもの乱れをはじめ、服装のくずれかけ、消え去るなどの身嗜み、公衆の面前における言動、挨拶などの礼儀作法等々、どれを取り上げても日常生活に見られる彼らの言動には目に余るものが多いと思うが、いかんがであるか。

例えば、登下校時の電車やバスの車中の会話など、聞くに耐えないものがある。老人を無視して「チョーむ

## エネルギー・環境教育の視点を育む修学旅行

### 環境学習研究・実践レポート

#### 東京都小金井市立小金井第二中学校

一 修学旅行概要  
 小金井第二中学校、平林忠校長、三年生一六六人の修学旅行は平成十年五月二日から二六日の二泊三日、福島県で実施された。

日程・コースは資料①参照  
 (一)修学旅行の特色及び環境学習との接点  
 各教科で学んだエネルギー・環境問題、一・二年次に実施した体験学習を修学旅行における施設見学、作業等の体験を通して深化・補完するテーマ学習を中心とした修学旅行である。

(二)環境学習展開の場所等  
 日程第一日目午後資料①

二 実践の内容  
 (一)目標  
 ・エネルギー・環境問題を



下郷水力発電所

① 下郷水力発電所 (水力)	福島県南会津郡下郷町大字小沼崎字半丈乙847-1	41人	4人	18:30着
② 福島第二原子力発電所 (原子力)	福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12	50人	3人	
③ 広野水力発電所 (石油・天然ガス混合火力)	福島県双葉郡広野町大字下北道字二ツ沼58	24人	3人	
④ 新地発電所 (石炭火力)	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神1番地1	51人	3人	

① 日程・コース  
 温泉 18:30着

② 環境学習プログラムの例  
 福島第二原子力発電所  
 ・発電所概要説明  
 ・原子力、火力、水力発電の役割と特徴  
 ・環境問題と原子力  
 ・電源のベストミックス  
 ・環境対策・その他  
 ・展示台、モニター、ビデオ  
 ・中央制御室  
 ・原子炉建屋6階(3号炉4号炉)  
 ・原子炉建屋2階  
 ・地元福島中学校との交流会  
 ・福島県立総合資料館  
 ・両校交流を促進  
 ・両校によるマヨナカの挑戦

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心へのこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

**箱根高原ホテル**  
 〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻  
 ☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習  
**奥日光の自然と仲間たちとの語らい.....**

夏は林間学校、冬はスキー。自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください。鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

**奥日光高原ホテル**  
 〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉  
 TEL. 0288(62)2121(代表)

—修学旅行の楽しいお食事—  
**箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート**

◇500名様迄、ご利用いただけます。  
 ◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-0407 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121  
 ☎0460(2)2221(予約センター)

古代文化 邪馬台国ルート  
**吉岐へ...**

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお勧めします。

吉岐教育旅行受入協議会事務局  
**九州郵船**  
 TEL (092) 281-0831  
 FAX (092) 281-0444  
 URL http://www.mapion.co.jp